

1. はじめに

1-1 目的

- 都市は、多くの人々が住み、商業、工業、農林水産業などの様々な活動が営まれ、多様な人々が集い、憩う交流や観光の場です。都市には、このような生活や産業、観光の多様な活動が、安全・快適に、かつ魅力や活力の高い活動として営まれることが求められます。
- 都市計画とは、このような都市づくりを計画的に誘導し、いきいきとした生活や活発な産業・観光活動を維持・発展させていくための計画であり、仕組みづくりです。
- 都市計画に関する基本的な方針（以下「都市計画マスタープラン」という）は、都市計画を効果的・効率的に進めていくために、市民意見を反映させながら、長期的な視点に立ち、都市づくりの方針を総合的・一体的に定めるものです。

策定の目的

別府市都市計画マスタープランは、概ね 20 年後の別府市のあるべき姿、方向性を見据え、その実現に向けて、市民や行政が協働して、都市づくりを進めていくための基本的な方針となることを目的として策定します。

1-2 役割

1. 長期的な視点に立った別府市の将来の都市像を示します。

- 都市づくりは、快適で魅力ある生活の提供、活力ある産業や観光の振興のための手段となるため、その目標となる将来都市像を明確にすることが必要です。
- 都市計画マスタープランでは、概ね 20 年後の将来を見据え、長期的な視点に立って、別府市や住まいに身近な地域がどのようなまちになれば個性的で魅力の高い都市になるかという将来都市像を、市民と行政との共通認識として示します。

2. このマスタープランに基づき、都市計画の施策を実施していきます。

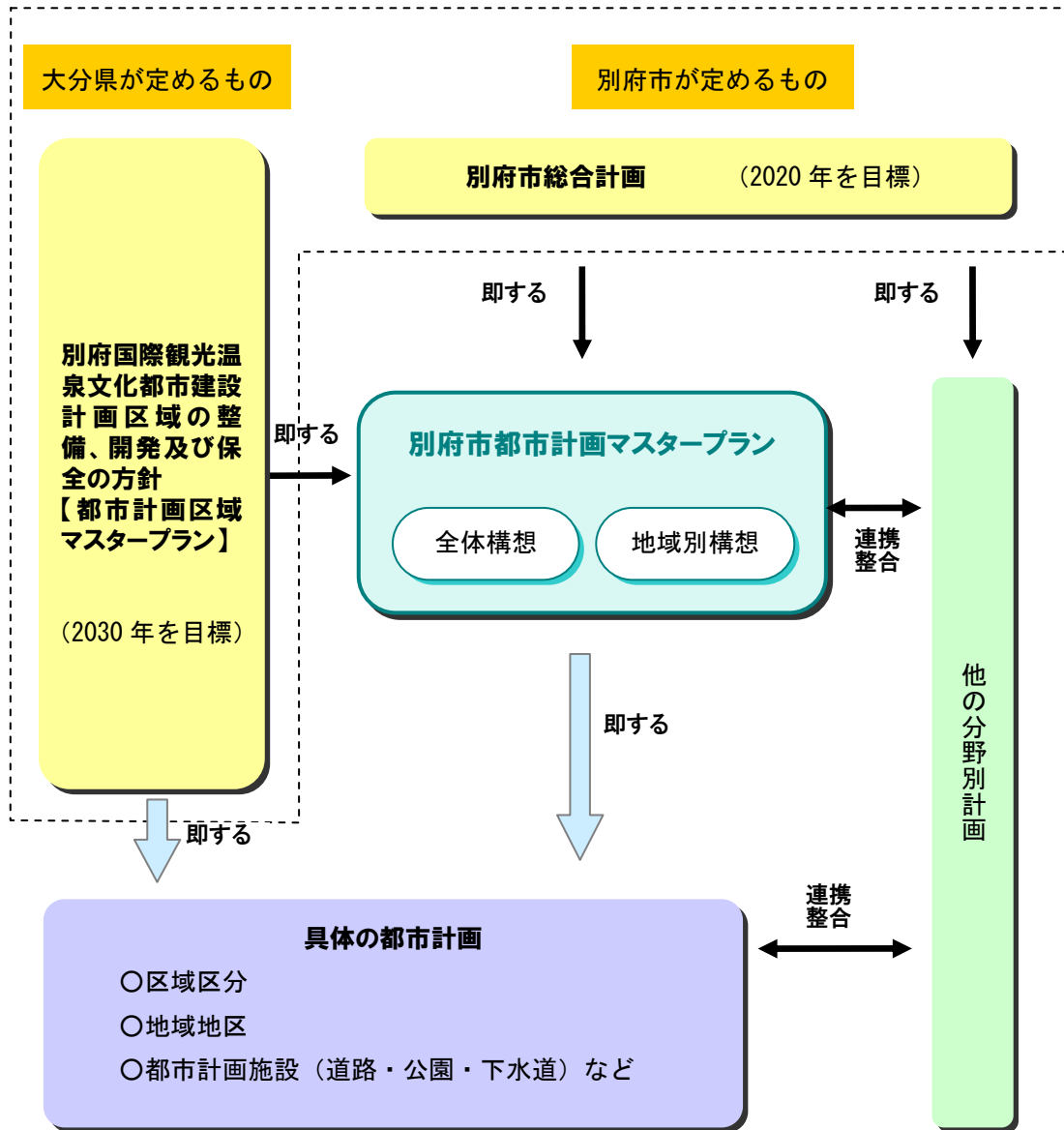
- このマスタープランは、都市づくりのための手段となる土地利用、都市施設、自然環境、景観など個別の施策を体系づけ、総合的な方針を示すものとなります。
- したがって、土地利用の誘導、都市計画道路や公園、河川・下水道の事業など、今後の具体的な都市計画の事業は、このマスタープランが示す方針に沿って、個別事業計画に基づき、実施していきます。

3. 市民と行政が協働して取り組む都市づくりの方針となります。

- このマスタープランを策定することは、あくまでもめざすべき都市づくりに向けての第一歩であり、具体的に実践をしていくことが重要です。
- そのため、マスタープランは市民と行政が協働して取り組む都市づくりを考える方針として、重要な役割を担います。

1-3 位置づけ

- 別府市が定める「別府市総合計画」を上位計画とし、その都市計画に関連する事項について、他の分野別計画とも整合を保ちながら定めます。
- 大分県が定める「別府国際観光温泉文化都市建設計画区域の整備、開発及び保全の方針」にも即しながら定め、都市計画の広域的な一体性を確保します。



■位置づけ



1-4 見直しの背景

(1) 別府市を取りまく社会経済情勢の変化

- これまで、本市は人口増加や経済発展に伴い、都市の拡大や開発に重点を置いた都市づくりを進めてきました。
- しかし、今後は本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来、国際化や地方分権の進展、環境問題の深刻化、および市民の価値観・ライフスタイルの多様化、安全・安心な社会への意識の高まりなどが予想されます。
- また、本市には、優れた自然環境、温泉や湯けむり、歴史遺産が維持され、年間約 1,200 万人の観光客が訪れ、学術研究、コンベンションなどの施設も集積しています。
- さらに、多くの大学やまちづくり活動団体があるなど、人的資源にも恵まれています。
- 今後は、これらの社会経済情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応しつつ、多彩な資源を十分に都市づくりに活かし、都市の個性を磨きあげるにより、別府市の価値を高めていくことが求められています。

社会経済情勢・市民ニーズの変化に、柔軟に対応した都市づくりが必要！

都市を取り巻く状況	求められる都市づくりの視点
人口減少、少子高齢化社会の進行	拡大を前提としない都市づくり／高齢者の社会参加や子育てがしやすい環境づくり
国際化、広域交流の進行	地域間競争に対応した温泉観光都市としての個性の発揮
地方分権の進展、財政状況の逼迫	プロセスの重視・選択と集中の都市づくり／コンパクトシティ推進
環境問題の深刻化	環境負荷の低減、コスト縮減による資源循環型の都市づくり
価値観やライフスタイルの多様化	生活者や利用者の視点を重視した多様な価値観への対応
安全・安心な社会への意識の高まり	「マライゼーション」の概念に基づく都市づくり／防災・防犯に配慮した都市づくり
市民参加型社会への移行	多様なまちづくりの主体に支えられた市民主体の都市づくり

◆都市の現況

○都市と優れた自然とが共生した、国内有数の温泉観光都市

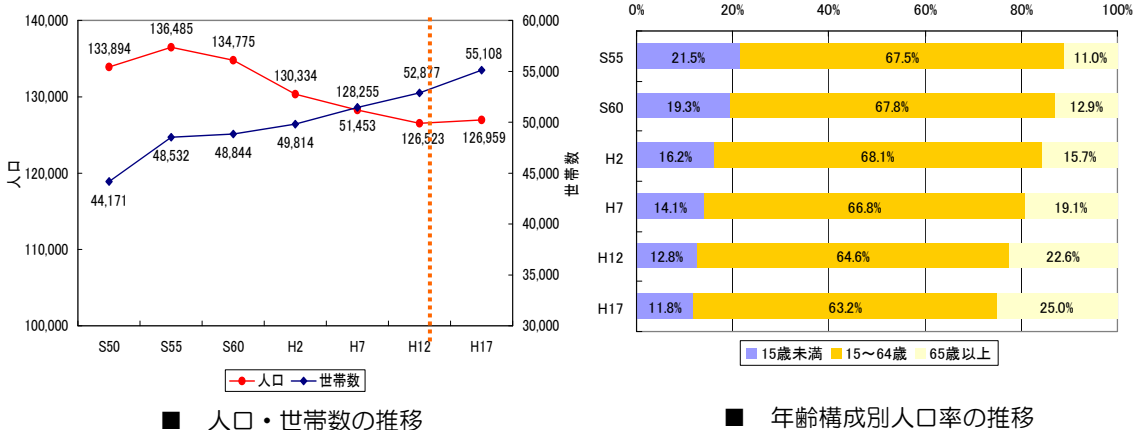
- ・阿蘇くじゅう国立公園の優れた緑、別府湾などの水に囲まれた風光明媚なコンパクトな都市
- ・人口の流出や高齢化が顕著
- ・多くの都市サービス施設、文化財・近代化遺産
- ・年間 1,200 万人が訪れる国内有数の観光地（海外からの観光客の増加）

○低水準に留まっている都市基盤

- ・都市計画道路整備率 40.5%（平成 21 年度）
- ・都市計画公園整備率 23.4%（平成 21 年度）
- ・公共下水道普及率 62.0%（平成 21 年度）

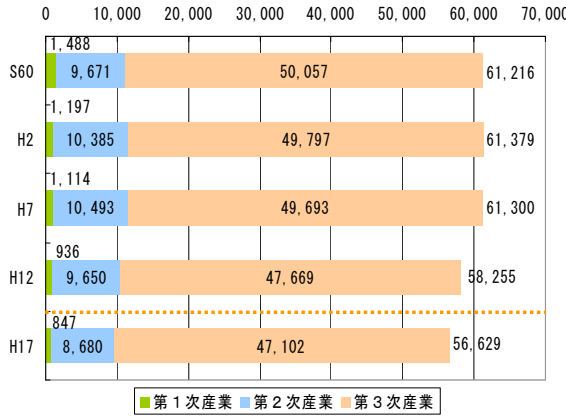
◆人口減少・少子高齢化社会の進行

- ・別府市においては、昭和 55 年をピークに人口減少が進んでいます。
- ・また、少子高齢化が進んでおり、平成 17 年の高齢化率は約 25%となっています。



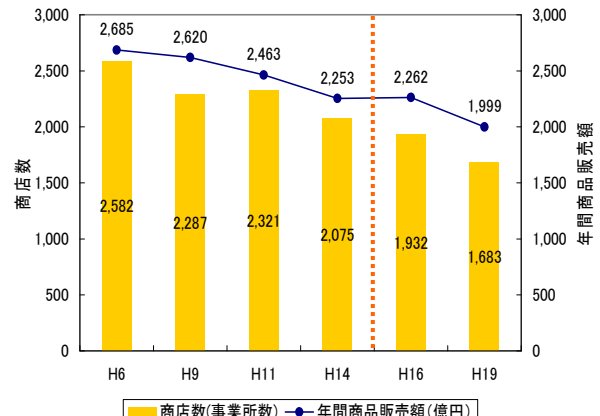
◆経済状況の変化

- ・長引く世界経済の不況の中、別府市においても就業人口、商品販売額等は減少傾向にあります。



■ 産業就業別人口

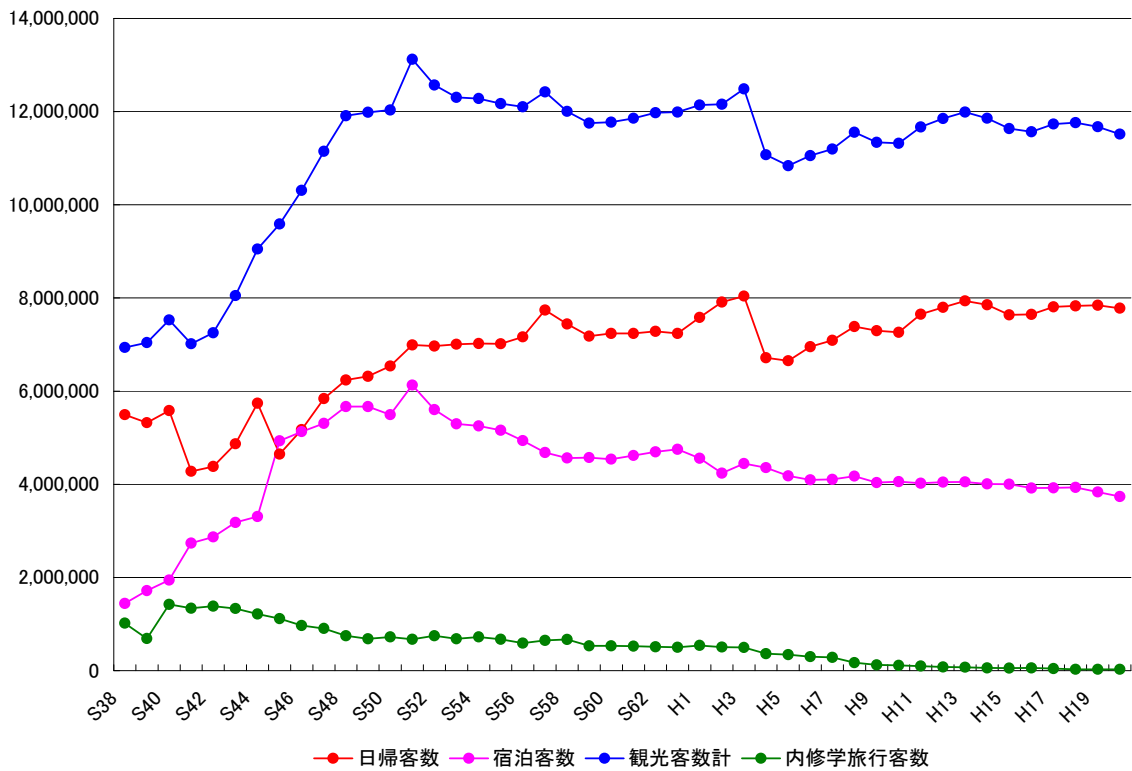
出典：国勢調査



■ 商店数・年間商品販売額の推移

出典：商業統計調査

- ・観光客数は、昭和50年代以降、減少傾向にありましたが、近年では、1,200万人弱で推移しており、依然として国内有数の観光地となっています。
- ・また、近年では国際化、広域交流の進行に伴い、海外からの観光客も増加してきています。



■ 観光客数の推移

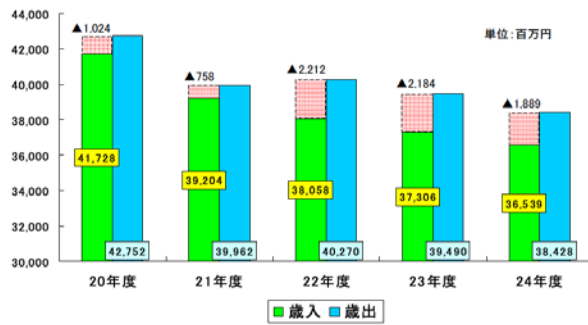
出典：平成20年観光動態要覧



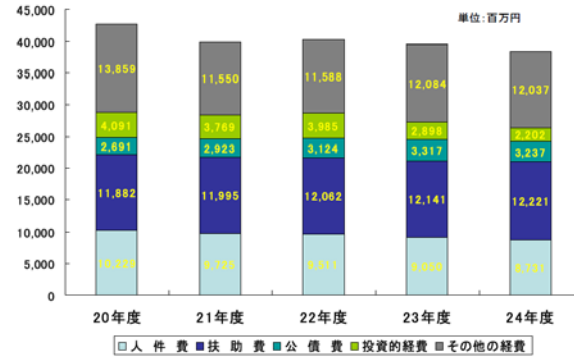
◆厳しい財政状況

- ・「別府市財政収支の中期見通し（平成20年度11月改定版）」では、平成20年以降、歳入・歳出ともに減少する傾向にあり、今後も市の財政状況は厳しくなることが想定されています。
- ・これと関連して、都市基盤整備にかかる投資的経費についても減少することが見込まれます。

■ 別府市財政収支の中期見通し（平成20年度11月改定版）



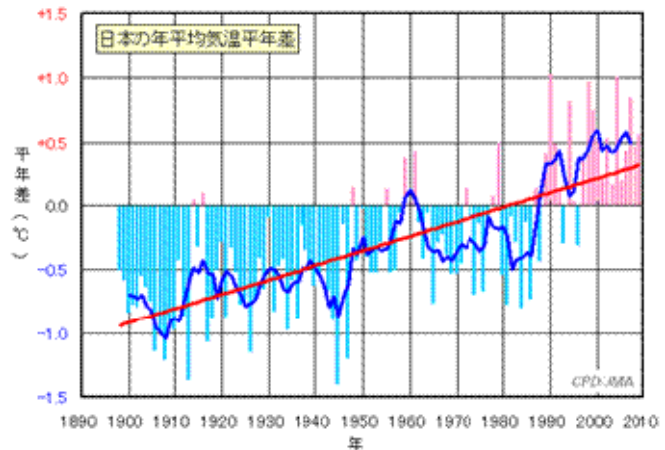
■ 歳出



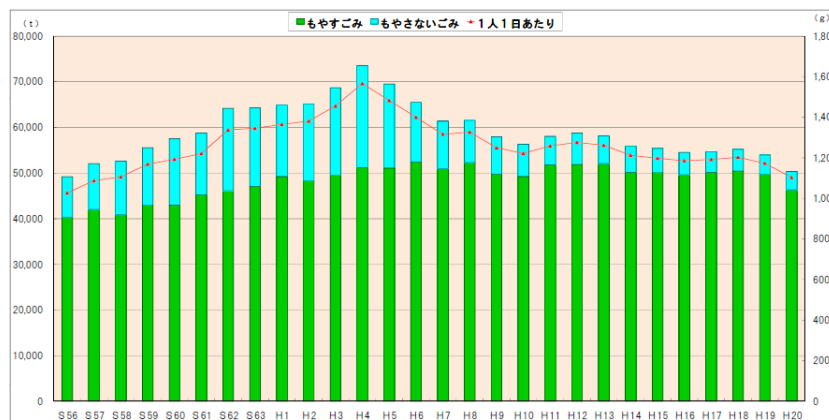
出典：別府市財政収支の中期見通し（平成20年度11月改定版）

◆環境問題

- ・地球温暖化の顕在化に伴って、低炭素型社会への対応が急務となっています。
- ・これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄社会から、既存の資源を有効に活用した循環型社会の構築が求められている中、ごみについては減量化、リサイクルなど多様な取組みを推進しているため、減少傾向にあります。



■ 日本の年平均気温の年差の経年変化
出典：気象庁ホームページ

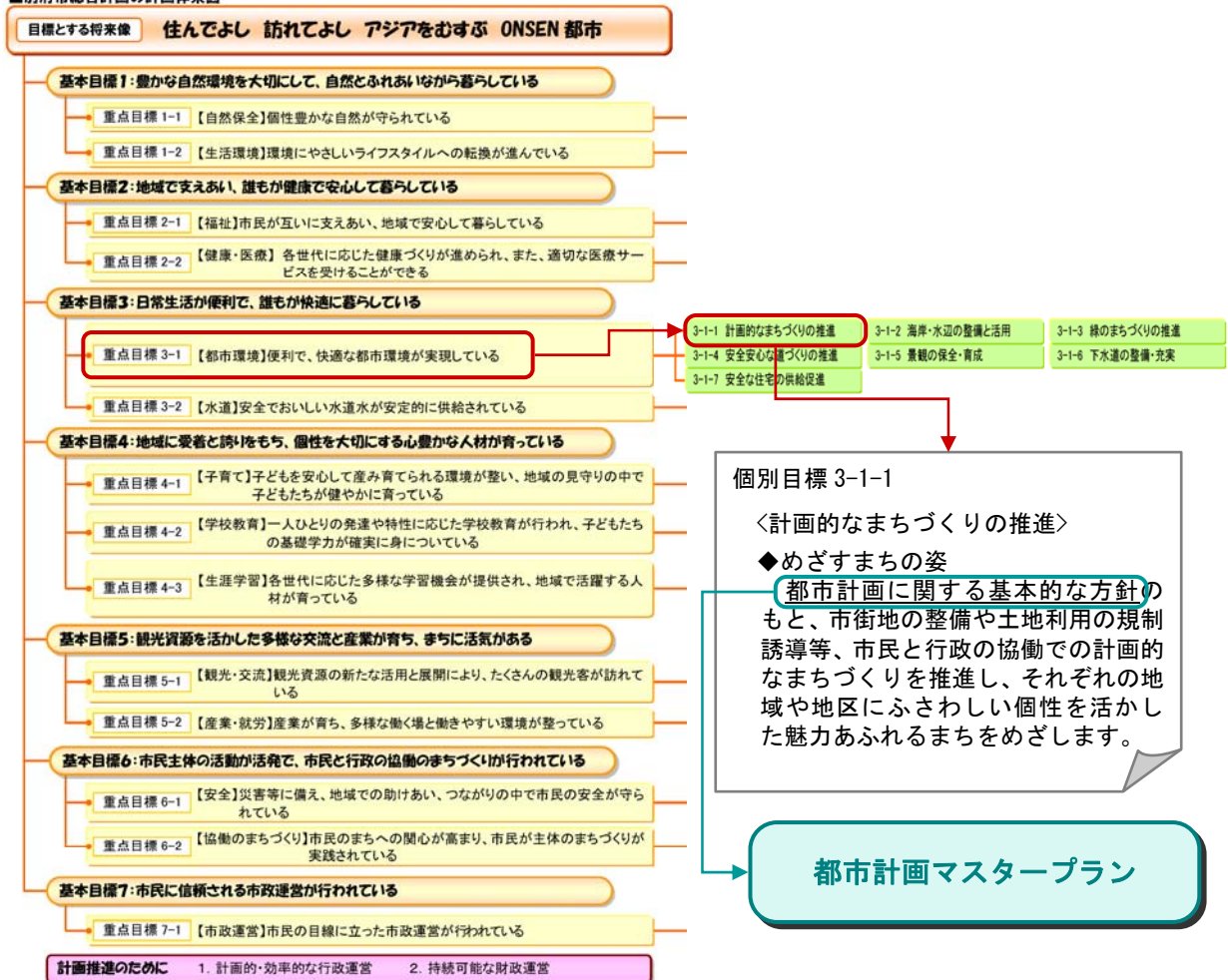


■ 一般廃棄物（市収集分+直接搬入）年度別収集量

(2) 別府市総合計画との関係について

- 総合計画は市政を推進していくための計画として最も上位に位置づけられる計画です。市の総合的、計画的な行政推進の指針となるもので、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されます。
- 別府市においては、第3次総合計画が平成23年3月に策定されます。
- 総合計画と都市計画マスタープランの関係は、総合計画が市の行政全般を対象としているのに対して、都市計画マスタープランは総合計画の将来像や目標に即して都市づくりの部分についてさらに具体的に方針や取組みを定めていくものです。
- 総合計画の中では重点目標3-1で計画的なまちづくりを進めていくために都市計画マスタープランが明記されています。

別府市総合計画の計画体系図



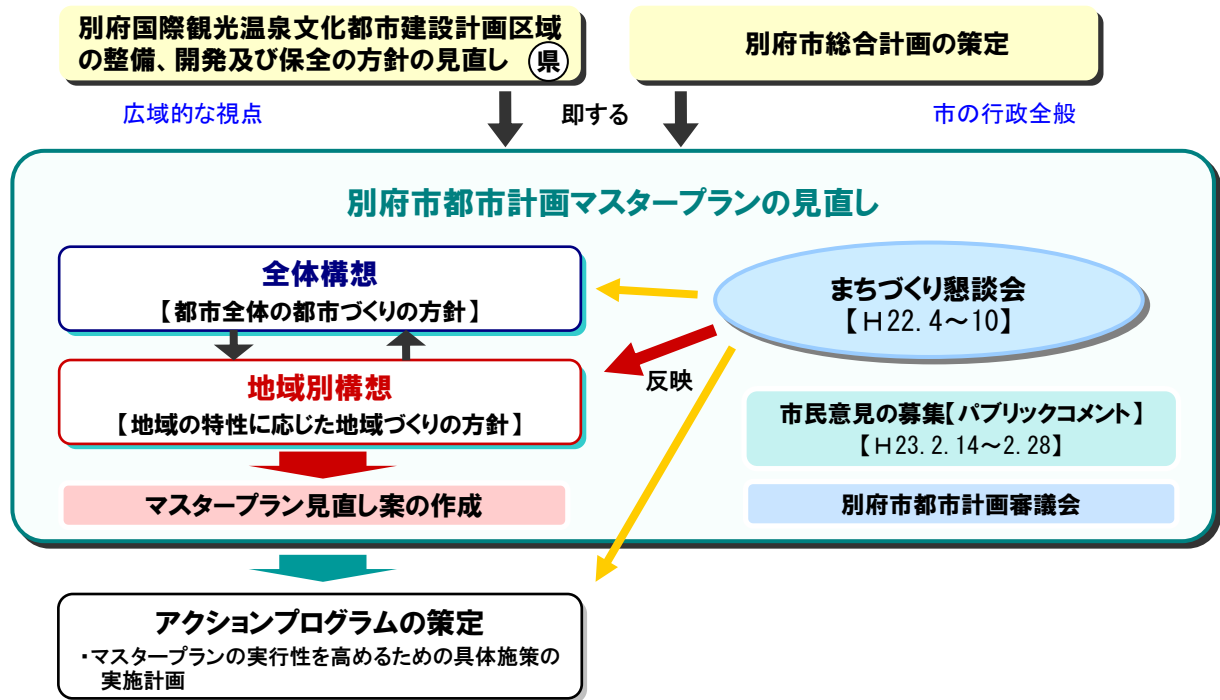
総合計画と都市計画マスタープランの関係



(3) 見直しのポイント

①見直しの流れ

○見直しに当たっては、「別府国際観光温泉文化都市建設計画区域の整備、開発及び保全の方針」及び「別府市総合計画」の見直しを踏まえて、まちづくり懇談会等により十分に市民意向を収集・反映しつつ策定しました。



②見直しのポイント

○社会経済情勢の変化や市民意向を踏まえて、以下の4つの視点に留意しつつ、計画を見直します。

①市民意見を十分に踏まえた見直し

まちづくり懇談会でいただいた意見を踏まえ、各地域ごとの特性を活かして、地域づくりのテーマ、方針、施策等を検討します。

②社会情勢の変化に対応した見直し

人口減少、少子高齢化や環境問題など社会情勢の変化を考慮し、地域活性化やコンパクトな市街地形成など時代に即した地域づくりを検討します。

③別府らしさを活かした見直し

別府ならではの温泉、歴史的資源や景観など、別府らしさを活かした地域づくりを検討します。

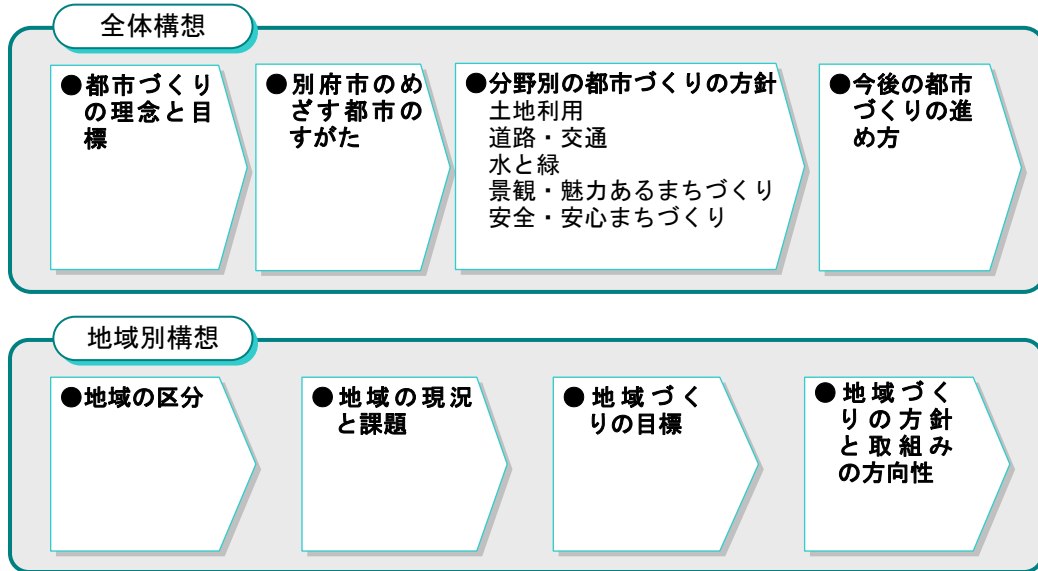
④実現性の高い計画をめざした見直し

厳しい財政状況を踏まえ、事業の選択と集中や、市民と行政の協働によるまちづくりの推進などにより、実現性の高い計画づくりをめざします。マスタープランの実行計画（アクションプログラム）を策定し、地域づくりの施策を実行していきます。

■ 都市計画マスタープラン見直しの4つのポイント

1-5 構成

○別府市都市計画マスタープランは、全体構想と地域別構想から構成されています。



■別府市都市計画マスタープランの構成

1-6 基本的事項

対象区域	別府国際観光温泉文化都市建設計画区域（8,585ha）を対象とします。
目標年次	基準年次：2010年（平成22年） 目標年次：2030年（平成42年）
見直し	都市計画は、社会潮流の変化や市民意向、市街地などの変化に柔軟に対応する必要があるため、必要に応じて見直しを図ります。



1-7 市民意見の反映

別府市都市計画マスタープランでは、市民と行政が共通認識に立って都市づくりを進めるために「まちづくり懇談会」を開催し、参加者の意見・提言をいただきました。

まちづくり懇談会の概要

(1) 地域の区分

地域コミュニティのまとまりを勘案しつつ、市民意見をきめ細かに把握するために、市内全 15 校区ごと、および5地域（南部、中部、西部、北部、朝日・大平山）ごとに開催しました。



■まちづくり懇談会開催の区分（15 校区、5 地域）

(2) まちづくり懇談会の進め方

〇まちづくり懇談会は、以下の3点を主な目的に住民と行政との協働による計画づくりを行うため、ワークショップ形式で進めました。

まちづくり懇談会の目的

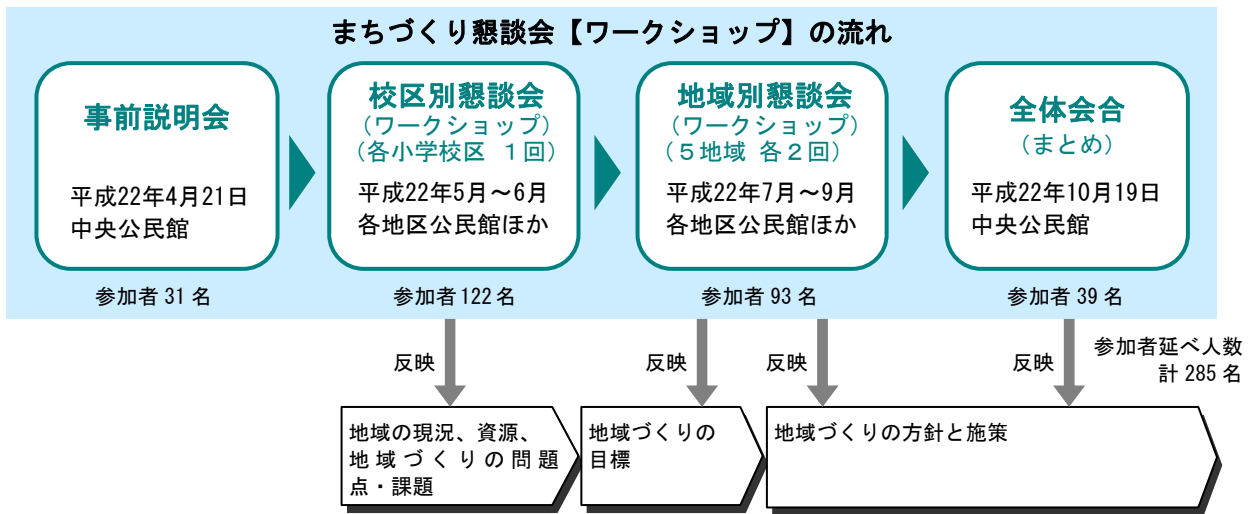
- ①市民の思いや考えの抽出と共有。
- ②これらを現計画（特に地域別構想）見直しの参考とし、市民ニーズを反映した計画とする。
- ③市民が主体的にかかわるまちづくりの取組みのイメージ共有。

〇地域別構想で明確化する地域の現状と課題、地域づくりの目標、地域づくりの方針と施策を勘案し、校区別懇談会および地域別懇談会において段階的にテーマを設定して開催しました。

（次頁参照）

〇全体会合では、これまでのまちづくり懇談会で提案・検討された内容をもとに事務局でとりまとめた、市民目線による地域まちづくり方針案についての説明を行い、意見交換を行いました。

まちづくり懇談会【ワークショップ】の流れ



■まちづくり懇談会のテーマ・スケジュール

◆まちづくり懇談会(ワークショップ)事前説明会

- 都市計画マスタープランについて説明
- まちづくり懇談会の説明
- 別府市らしい風景と将来像について



◆校別まちづくり懇談会(ワークショップ)

テーマ:「校区の「良い点、改善すべき点」をみんなで発見しよう」

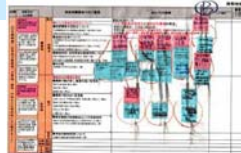
- 「校区の良い点」について
- 「校区の改善すべき点」について



◆第1回地域別まちづくり懇談会(ワークショップ)

テーマ:「「まちづくり施策」を考えよう！」

- テーマごとの魅力・問題点の確認
- 「まちづくり施策」の検討
- 重要キーワードの検討



◆第2回地域別まちづくり懇談会(ワークショップ)

テーマ:「「まちづくりキャッチフレーズ」を考えよう！」

- 「まちづくり施策」の重要度の検討
- まちづくりキャッチフレーズの検討



◆全体会合

テーマ:「懇談会の成果をまとめよう！」



参考：市民アンケート結果

(別府市総合計画市民アンケート(2009年9月実施)より)

○別府市総合計画市民アンケート(2009年9月実施)の結果をもとに、本市の都市計画に関連する主な市民意向を以下に整理します。

【都市計画に関連する主な市民意向】

- 満足度 ●「山なみと湯けむりの眺望景観の保全」、「安全な水道水の安定供給」、「公園の整備、緑化の推進」に対する満足度が高い。
- 一方、「既存商店街の再生、商業振興」、「雇用機会の創出、就労の支援」、「違法駐車・放置自転車対策」に対する満足度が低い。
- 重要度 ●「消防・救急・救助・救命体制の充実」、「防災体制の整備、自然災害への備え」、「安全な水道水の安定供給」が重要とする意見が多い。
- 総評 ●このうち、「既存商店街の再生、商業振興」、「高齢者等が移動しやすい環境の整備(バリアフリー化)」、「雇用機会の創出、就労の支援」は、満足度が低く、かつ重要度が高い。
- 市民意向としては、総じて、雇用機会の創出や商業振興等の地域振興、バリアフリー化の推進や防災性の向上など、安全かつ快適に暮らせる活力のあるまちを望む声が多いようです。

■満足度(満足度の高い上位)

	第1位	第2位	第3位
市全体	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	安全な水道水の安定供給	公園の整備、緑化の推進
南部地域	安全な水道水の安定供給	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	公園の整備、緑化の推進
西部地域	安全な水道水の安定供給	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	公園の整備、緑化の推進
中部地域	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	安全な水道水の安定供給	公園の整備、緑化の推進
朝日・大平山地域	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	安全な水道水の安定供給	公園の整備、緑化の推進
北部地域	山なみと湯けむりの眺望景観の保全	安全な水道水の安定供給	自然環境、自然景観の保全

■満足度(満足度の低い上位)

	第1位	第2位	第3位
市全体	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	違法駐車・放置自転車対策
南部地域	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	違法駐車・放置自転車対策
西部地域	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	違法駐車・放置自転車対策
中部地域	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	高齢者等が移動しやすい環境の整備(バリアフリー化)
朝日・大平山地域	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	違法駐車・放置自転車対策
北部地域	既存商店街の再生、商業振興	雇用機会の創出、就労の支援	違法駐車・放置自転車対策

■重要度(重要度の高い上位)

	第1位	第2位	第3位
市全体	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	安全な水道水の安定供給
南部地域	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	安全な水道水の安定供給
西部地域	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	安全な水道水の安定供給
中部地域	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	防犯対策
朝日・大平山地域	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	安全な水道水の安定供給
北部地域	消防・救急・救助・救命体制の充実	防災体制の整備、自然災害への備え	安全な水道水の安定供給

